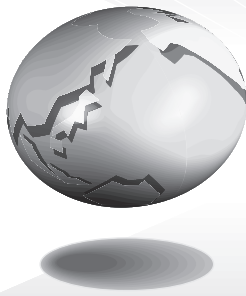


国際研究集会派遣報告



2019年度 国際研究集会派遣会員報告書

派遣国際研究集会：28th Annual Meeting of Society for MR Radiographers & Technologists (SMRT)/A Section of the International Society for Magnetic Resonance in Medicine (ISMRM, 27th Annual Meeting & Exhibition)

開催場所：Montréal, Canada
開催期間：May 11-16, 2019

国際学会ではじめての AWARD

派遣員 高津安男 徳島文理大学保健福祉学部診療放射線学科

2019年5月11～16日まで、カナダ、モントリオールの Palais des congrès de Montréal (モントリオール国際会議場) で開催された 28th Annual Meeting of Society for MR Radiographers & Technologists (SMRT) / A Section of the International Society for Magnetic Resonance in Medicine (ISMRM, 27th Annual Meeting & Exhibition) に、国際研究集会派遣会員として参加した。

大会には世界全国から磁気共鳴に携わる関係者が参加しており、シンポジウムや教育講演では活発にディスカッションが行われていた。

私の投稿した演題 “Distortion Correction for Diffusion-Weighted Imaging Based on Non-Rigid Image Registration” が the SMRT First Place Research Focus Award を獲得し、13分間の口述発表を行った。心配していた動画も問題なく動作し、クオリティの高い画像がスクリーンに投影された。今回の発表は、拡散強調画像における歪みを、ほかの解剖学的情報が得られる画像に非剛体位置合わせをすることで、余分なスキンをせずに後処理のみで補正をするというファントムスタディであった。これまでに報告されている歪み補正方法と比較して一致度は高く、また apparent diffusion coefficient も補正前と有意差がなく、有用性が高い方法であることを示した。発表後に、この研究の臨床応用に関する質問を会場からいただいた。また、画質が極端に異なった際の対応について座長から質問された。更に、発表および表彰が終わった後、セッションに参加した数人のオーディエンスから新たな質問や感想をうかがうことができた。このように、自分の演題に関してさまざまな国の参加者

から質問やコメントをいただいたことは貴重な経験となり、国際学会での意見交換は本当に研究者を成長させるものがあるという印象を受けた。

数多くのセッションのうち、興味深いものの一つに拡散のセッションがあり、その際に歪み補正の方法例として、今回の自分の研究らしき説明が提示された。最後までどの研究の引用かは明らかにはならなかったが、自分の研究に関する事例を引用されたことに感動し、また、この研究題材に関して学会が興味を示しているという印象を持った。

ほかのセッションとしては deep learning 関連のものが目を引いた。

謝 辞

海外の学会には、ほかにはない魅力があり、得難い体験をすることができる。今回、日本放射線技術学会よりご助成いただいたことに感謝申し上げます。なお、助成金は渡航費用として使用させていただきました。会員が海外学会に参加しやすい環境をサポートする一つの手段として、この助成金がこれからも継続していくことを強く願う。

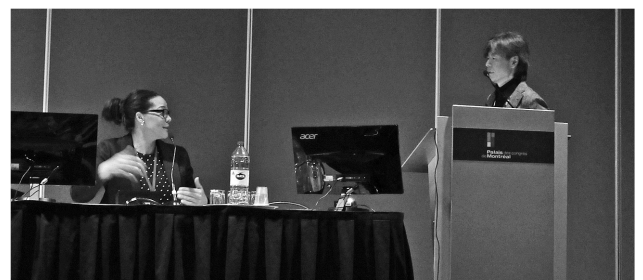


Photo 座長と質疑応答する筆者